

## 資料－5

第36回 維持管理・環境管理専門委員会  
2019年5月9日

# マーケットリサーチについて

# 1. 2019年度のマーケットリサーチ

- 過年度に接点を得たT小学校やT専門学校との具体的な協議を進めていきます。
- 新たなリサーチ対象の開拓を進めていきます。
  - エコプロ2019を訪問し、ご協力いただけそうな企業・学校・団体等を探ります。
  - 各委員の方は、年間計画に関わらず、適宜、独自にリサーチ対象にアプローチをお願いします。

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
T専門学校	←----- T専門学校との協議 ----->				←----- T専門学校の活動 ----->							
T小学校		●T小学校 の現地活動① (5月または6月)		●T小学校 の現地活 動② (または9月)		●T小学校 の現地活 動② (または7月)						
企業等	←----- 各委員が独自にリサーチ対象にアプローチ ----->								5日(木) ~7日(土) :エコプロ2019			

## <エコプロ2019の開催概要>

- 【開催日】 2019年12月5日(木)~7日(土)
- 【会場】 東京ビックサイト 西・南ホール
- 【出展規模】 550社・団体 / 1,350小間(見込み)
- 【来場者数】 170,000人(見込み)

出典：<http://eco-pro.com/2018/outline/001304.html>

## 2. T専門学校

- 9～10月の講義において荒川太郎右衛門地区自然再生事業を題材として頂く予定で協議を進めています。
- 8月までに協議・調整を行います。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
専門学校と協議・調整	—————											
講義				講義準備 (事務局支援)	講義 (現地確認を含む)			成果まとめ				
「成果」の活用								活用方針の検討				
委員会(●)および協議会(★)		●	●	●	●★			●	●		★	●

4/16  
メール・電話  
協議時の資料

### T専門学校と荒川太郎右衛門地区自然再生協議会の連携

#### 1. 概要

T専門学校と協議会(荒川太郎右衛門自然再生協議会)の連携協同として、ビジュアルデザイン学科・3年Ⅱ期「デザイン研究2」において、荒川太郎右衛門自然再生事業を題材とした講義実施の可能性についてご検討頂く。このため、協議会より情報提供を行いながら、連携協同の具体化について話し合いを進めていく。

#### 2. 講義内容の検討

- ・講義時間は、90分×2コマ連続講義×週2日、最大で5週間程度。
- ・協議会事務局より、①目的や狙い、②対象者・人数、③開催時期など条件提示して、講義内容の具体化を検討する。

講義内容の検討(案)

テーマ	目的・狙い	対象者・人数	開催時期	備考
案1: 秋イベントの企画	地域協議会が主催している毎年恒例「秋イベント」を刷新する。	・親子連れを対象 ・2018年は100名が申込(当日参加者数80名)	2019年 10月19日(土) 予備日 10月20日(日)	・従前のイベント企画に捉われることなく検討する場合、案3と同じ。 ・開催時期が10/19であり、スケジュール的にタイトである
案2: 川島町農業商工業のブース出展企画	川島町主催イベントのブース出展を刷新する。	・川島町やその周辺にお住いの方々 ・親子連れや年配者が多く、若者は少ない	2019年 11月23日(祝)	・制約条件は明確なので取り組みはしやすい。 ・学生の興味関心を得られるか(モチベーションが上がるか?)
案3: 新たなイベントの企画	太郎右衛門サポーターを発掘するためのきっかけとなるイベントの企画実施。	・桶川市、上尾市、川島町ばかりでなく、JR高崎線沿線や都内からも人を呼び込み、将来のキーマンとなりうる人に繋がりたい。	2019年 12月頃に開催	・なんでもできるが、発散したり、まとまらない可能性がある。
案4: 太郎右衛門自然再生事業のプロモーション	まず、「太郎右衛門自然再生事業」の認知度アップ。このため、様々な媒体(Web、SNS、ポスター&チラシ、イベントなど)を活用したプロモーションを行う。	・広くPR(不特定多数) ・担い手探しの前段階と位置づける	2019年 12月頃に発信	・イベントに比べ、多数の人の目に触れることになるので、学生の興味・関心を得やすいと思われる。

案4「太郎右衛門自然再生事業のプロモーション」を中心に進めることで協議中

#### 3. 課題

- ・学生に現地をよく知ってもらうことが重要と考えている → 現地見学会などを開催したい。
- ・成果の活用に関する取り決め、実費負担の範囲、謝礼や表彰や感謝状など。

## 2. T専門学校

●エコプロ2018で名刺交換したT専門学校との協議の経緯です。

通算	実施日	形式	出席者	結果
1回目	2019年 1月30日	訪問	(T専門学校) ・社会活動推進室長 ・社会活動推進室統括 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	・情報交換 ・協同の取り組み実施の可能性確認
2回目	2019年 3月1日	訪問	(T専門学校) ・社会活動推進室長 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	・協同の実施条件の確認
3回目	2019年 3月20日	訪問	(T専門学校) ・社会活動推進室長 ・ビジュアルデザイン学科長 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	・協同対応が可能な授業の確認 ・調整事項・スケジュールの確認
4回目	2019年 4月15日	メール 電話	(T専門学校) ・ビジュアルデザイン学科長 (協議会) ・事務局	・対応課題の絞り込み ・調整事項・スケジュールの確認

### 3. T小学校

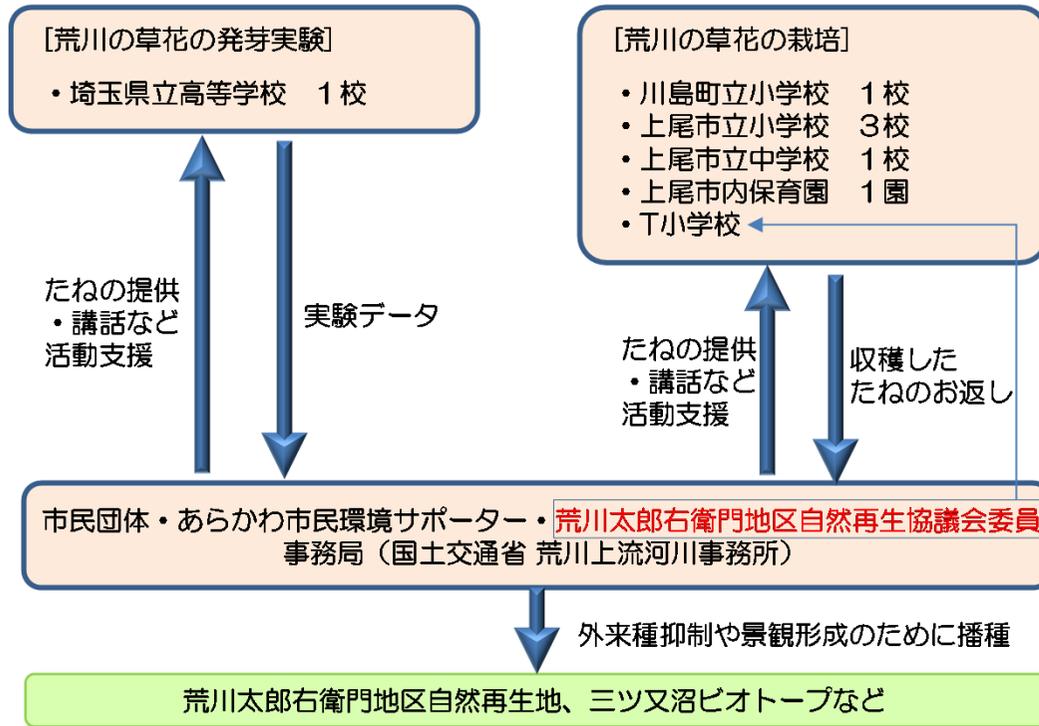
●T小学校に以下の年間計画案を提示し、協議をすすめています。

荒川の草花を育てようプロジェクト：

・荒川における外来植物の抑制と景観形成を目的に、学校や園などで、荒川にもともと生育する在来の草花（キンミズヒキ、ユウガギクなど）を育て、たねを収穫するプロジェクトです。

・本プロジェクトは、平成28（2016）年度より三ツ又沼ビオトープで開始。H31年4月現在で、T小学校を除き、6校・園が参加。T小学校は本プロジェクトを荒川太郎右衛門地区自然再生地で展開予定。

・この一連の取り組みを通して、児童には荒川の自然を守り育てる大切さを体験的に学習する機会を提供します。



2019年度 年間計画案：

時期	時間	内容
5月	20分間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校（全校集会の一部）</li> <li>・協議会からたねの授与</li> <li>・荒川の自然やプロジェクトについて講話</li> </ul>
5～6月	90分間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然再生地</li> <li>・自然を守る体験（オオブタクサ抜き）</li> <li>・自然観察 等</li> <li>■学校</li> <li>・荒川の草花のたね蒔き</li> </ul>
7月 もしくは 9月	90分間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自然再生地</li> <li>・自然を守る体験（オオブタクサ抜き）</li> <li>・自然観察 等</li> </ul>
9月頃	45分間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校</li> <li>・草花の生育確認</li> <li>・たねの収穫のレクチャー</li> </ul>
9～12月	随時	（休み時間や放課後などを活用し児童がたねを収穫）
1～2月	20分間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校（全校集会の一部）</li> <li>・協議会からたねの授与</li> <li>・荒川の自然やプロジェクトについて講話</li> </ul>

### 3. T小学校

●T小学校との協議の経緯です。

通算	実施日	出席者	結果
1回目	2018年 10月2日	(T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度、荒川太郎右衛門地区自然再生協議会と連携していきたい。</li> <li>・現地が近いことから、児童たちが興味を持つ可能性がある。</li> </ul>
2回目	2018年 12月6日	(T小学校) ・校長先生 ・教頭先生 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地への移動は、スクールバスを使用することが可能である。</li> <li>・現地に行き、(遊びも含めて)自然に触れながら、生態系の学習を実施したい。</li> </ul>
3回目	2019年 4月23日	(T小学校) ・校長先生 ・教務主任 ・4年教諭 (協議会) ・堂本委員長 ・事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三ツ又沼ビオトープで行われている「荒川の草花を育てようプロジェクト」を、荒川太郎右衛門地区自然再生地で展開したい。4年生(1クラス30名)が授業として関わることを予定している。</li> <li>・自然再生地への現地訪問を、年2回(1回目:5~6月、2回目:7月もしくは9月)に予定する。1回の活動時間は移動を含めて90分間程度。現地への移動はスクールバス2台を利用する。</li> <li>・日程は、スクールバスの空き状況など川島町教育委員会と調整して決める。その日程に応じて、事前に全校集会で全児童を対象にたねのお渡し式を行う否かを判断する。</li> </ul>

# 参考：マーケットリサーチの目的

第16回維持管理・環境管理専門委員会で確認  
(下図は上記委員会時のものを基に修正)

- 太郎右衛門地区における維持管理を行うためには、協議会の委員および関係団体のみでは十分な体制とならないため、**協議会の外部協力者の参画**を求めていきます。
- 参加して頂けそうな近隣地域の団体・企業をあらかじめ想定し、これらの方々が**参加しやすい条件を整える**ため、対象者の「ニーズ」についての「**マーケットリサーチ**」を行います。

